

# あさひの子

～自分から 自分で～

## 自ら正しく行う子

大村市立旭が丘小学校学校だより NO.18

令和8年1月9日 校長 永富 伸介

### 3学期スタート!

令和8年(2026年)午年となりました。14日間の冬休みを経て、いよいよ昨日から3学期がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。年末年始はゆっくりと過ごされたことだと思います。幸い、この冬休みには、大きな災害、子どもたちに関わる事件や事故等の知らせがなく、旭っ子が元気に学校へ帰ってきました。そして、1名の転入生を迎えてリモートでしたが落ち着いた雰囲気の中で始業式を迎えることができました。

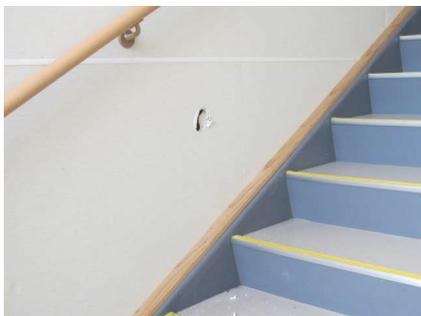


この3学期は1年間のまとめとなる学期であると同時に進学や進級の準備をする学期でもあります。このことを「0(ゼロ)学期」とも言います。2学期の終業式ではこのことについて話をしました。始業式後に各学級でも3学期の目標を立てる子どもたちの姿が多く見られました。きっと、これからも学習や多くの活動を通して心身の大きな成長が見られることでしょう。

特に、これまで学校のリーダーとして活躍してきた6年生は、卒業そして中学校への進学と大きな節目の時期がやってきます。卒業式や修了式などよりよいゴールが迎えられるように、私たち教職員も子どもたちとともに最後まで、駆け抜けていきます。何かありましたら遠慮なくお知らせください。この3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

### 壁の穴から

写真が大変分かりにくいのですが、2学期末のことでした。階段の壁に大人のこぶし大の穴が空いていました。誰かが壁をけてできたものか、遊んでいて誤ってできたものか、職員間で共有



をし、子どもたちへも指導しましたが、はっきりしたことは分かりませんでした。学校は公共の場ですから、施設や備品を大切に扱うことは当然です。しかし、穴がどうしてできたのか、穴を空けたのが子どもであるならばどんな心の状態だったのか……。子育てをする上で、子どもの成長に応じて「手を放さず、目を離さず、心を離さず」と言いますが、これも何かのサインだったのかもかもしれません。簡単ではありませんが「心」を見つめていかねばなりません。何かありましたら、気兼ねなく御相談ください。

### 旧本校舎の解体工事が始まります

長寿命化工事もいよいよ旧本校舎の解体が始まろうとしています。体育館は現在、骨組みだけになり、外装や内装の作業に取り掛かる段階のようです。旧本校舎も周辺に足場を組み、少しずつ目隠しをしている段階です。工事の音も気になるほどではなく、極力、教育活動に支障がないようにしていただいています。慣れ親しんだ旧本校舎の姿が間もなく見えなくなります。寂しくなりますね。



### 職員が着任しました

3学期から2名の教職員( )が産前休暇に入りました。その代替者が着任しましたのでお知らせいたします。今後ともよろしくお願いいたします。